



R. I. 第2620地区 静岡第1グループ
三島西ロータリークラブ

週報

第2340号

事務所 静岡県三島市泉町9-8
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 鈴木 正二 幹事 加藤 憲勝



広重版画より 三島 朝霧

第2413回例会

2025.3.6曇

司 会

柴崎恵子君

国歌斉唱

四つのテスト

ロータリーソング

「奉仕の理想」
指揮 杉崎亮慈君

会長挨拶

会長 鈴木正二君

2月13日の会長挨拶で2月は「平和構築と紛争予防月間」ということで話をしました。そこで「真実はひとつという言葉があるが、事実はひとつで、それをとりまき、依って立つところにより真実はいくつもある」とお話ししました。真実というと正しいもの・正義というように考えがちですが、立場の違いによるものであれば、相手の真実はこちらにとっては不誠実・誤りということにもなります。2月28日のトランプ・ゼレンスキー会談のテレビを見てみると、立場の違いによる発言のズレに驚きました。それと同時に、まあまあで物を進めるよりもはっきりものを言うことは、良いことであるということ強く感じました。反面今のいわゆるパワハラが表に出てきて、「感謝していない」とか言うセリフは、やくざが「誠意がない」というのと同じであり、「あなたはカードを持っていない」「第3次世界大戦が起きるかどうかを賭けたギャンブルをしている」「支援を打ち切ったらどうする」とか相手の心を叩きのめす言い方、言い換えれば「アメリカの言うことを聞け」という態度が目に残りました。ロシアはNATOがどんどんロシアに迫ってきている、同じスラブ民族だからウクライナは一体であると考えています。ウクライナは独立国であるのにロシアがクリミア併合や東ウクライナを侵食していて、2月24日突然侵攻してきて国土を蹂躪し国民を殺していることが全ての悪の発端であると言っています。今回の会談をLIVEで見せたことはアメリカの策略だとか、ウクライナがアメリカの傲慢さを引っ張り出したとかいろいろ見方があります。全て違いがあるのが当然、違いを分かりあう、分かり合って合意して前に進む、そこに必要なものは「恕」であり「品」が大事だと思いました。表と裏の間には厚みがあり、その厚みの幅の理解が大事だと思います。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	33/46	71.74%	35/46	76.09%
今回	40/50	80.00%	会員総数	52名

欠席者 芦川君、加藤君、川名君、窪田君、栗原(康)君、須田君、諏訪部君、南木君、藤江君、前田(房)君

幹事報告

副幹事 森藤 賢君

1. 本日の例会、卓話は上野 悟君です。よろしくお願いします。
2. 酒田東ロータリークラブの現ガバナー補佐、工藤亜紀子さんが、国際ロータリー第2800地区のガバナーノミニ・デグジネートに決定したそうです。ご本人より、幹事宛、連絡がありました。
3. 本日の理事会で、古屋英将君の出席免除期間を3月末までとし、4月より通常会員とすることが承認されました。
4. 5月1日の例会が、台湾苗栗RCとの合同旅行と重なるため、5月18日に振り替えることが承認されました。(5/1の卓話は5/8に変更になります。)
5. 親睦家族例会について、5月18日に広小路ウェアハウスで開催することが決まりました。(移動例会)
6. 4/20(日)に地区研修・協議会(ZOOM)があります。
7. 「ゆめワーク三島」の案内をお配りしました。依頼のありました方はご対応をお願いします。
8. 台湾苗栗RCとの合同旅行に参加される方はメーキャップ扱いとなります。
9. 小泉ガバナー杯ゴルフコンペ開催の案内がありました。参加される方はご連絡下さい。
10. 次回例会は3月13(木) 18:30から夜間例会です。苗栗交換中学生激励会を行います。よろしくお願いします。

卓 話

自己紹介

上野 悟君

父は山梨県北巨摩郡須玉(すだま)町 現在の山梨県北杜市、母は福島県西白河郡中島村の生まれで、おのおの東京に集団就職。就職先が裾野市に本社移転したのと同時に昭和43年裾野市に転居し、同年結婚。その後、上野家長男として昭和46年7月8日出生、血液型A型。兄弟は2歳違いの妹がいます。幼少期に裾野市内で2回引っ越しをしたのち、3回目の引っ越しで現在の実家 裾野市茶畑峰下に家を建て、転居。小学3年生の時でした。転居前と同じ裾野東小に通い、当時地区のソフトボール活動が盛んであった為、小4より3年間ソフトボールに打ち込みました。当時の裾野東小は全校生徒1,600人超・同学年7クラス280人強の大所帯。沼駿地区でもっとも大きい小学校だったそうで、校舎全面と裏側に2つのグラウンドがあり、休み時間ともなれば多くの生徒が遊んでいましたので、早く遊び場を確保しようと給食を早く食べていた影響で、早食いの特技を習得。また、当時の裾野市内の小学生はウィンタースポーツに関わる機会が多かったです。学校の行事で「雪山教室」といって1・2年生はそり遊び、3・4年生はスケート教室、5・6年生はスキー教室を、毎年2月だったと思いますが、裾野市須山にあります「ぐりんぱ」 当時の日本ランドに課外授業で行きました。スケートはやったことがあった私ですが、小5のとき、自分の人生で今でも心ときめく「スキー」と出会いました。

その後、裾野東中に進み、仲の良かった友達はみなソフトボールが上手だったので、野球部に入部しましたが、自分はレギュラーにはなれないと思いバレーボール部に入部。ただ、この時代は上下関係が厳しく、一つ上の先輩からは厳しくかつ温かい指導を頂き、我慢し頑張っていたのですが、3年生に進級する春に衝撃的な出来事が起きました。

当時、東京キー局の「フジテレビ」で毎週月曜～金曜午後5時～6時に放送していた「タやけにゃんにゃん」がテレビ静岡でも放送を開始。1986年3月3日のことです。それからは、部活を「さぼり」いや「早退」し、春休みも部活そっちのけで番組を見ていた結果、新学期になった時にはレギュラーから降ろされ、私の知らない間にポジションに決まっていた。ちなみに、私の推しは「会員番号36番 渡辺満里奈」です。

そんな軟弱な中学生生活を経て、高校は御殿場南高に入学しました。部活は、当初学業優先して国立大学入学を目指していた？はずでしたので、郷土研究部に入部。部活内容は週1回、放課後集まって郷土の研究に勤しむだけと、フリーな活動。いよいよ3年生となり、大学受験を控え、志望校をどこにするかと悩んだ記憶は全くなく、当時バブル経済真っ只中で、東京にそこがれていた私は、東京の大学であればどこでもOKで、運よくのか悪くのか、大東文化大だけ合格。合格通知が郵送された時、うれしさと受験生の母としての心労が結果に結び付いたとの安堵感から母に号泣されてしまい、その姿を見た上で有名大学目指して浪人したいと言い出せず、そのまま大東大に入学。

大学入学と同時にサークルに入部。夏はテニス・冬はスキーをエンジョイしました。その後、3・4年は板橋校舎に通う事となったのですが、ここで両親より素晴らしい提案を頂きました。「車を買ってあげるから実家から通ったら」と。車種は、車でスキーに

行くことが絶対であった為、初代スバルレガシーを新車で購入。何不自由なく関越方面・栃木・福島、一番遠いところは山形蔵王温泉まで、今と違って下道でシーズン平日にはスキーへ行っていました。いまだに独学・我流で、どこでもどんな斜面でも滑れる自信はありますが、上手かどうかはよくわかりません。大学4年生になり、就職活動を本格的にスタート。入学当初から、地元である静岡に戻ってくるつもりでしたので、何となく金融機関に行こうと思い、当時裾野市内にあった金融機関はすべてエントリーしました。もう1行、現勤務先である「清水銀行」は当時裾野市内に店舗はありませんでしたが、エントリー。最終面接に臨んだ際、当時の頭取であった杉山から受けた質問は、「上野君は裾野市のどこら辺にすんでいるのか」だけで、その他は雑談で終了。完全に不採用と思っていたところ、翌日内定を頂き、そのまま清水銀行に平成6年4月入行。今思えば、裾野支店を出店するから、一人ぐらい出来が悪くても地元の人間を採用しておこうといった温情が働いたのでしょう。勉強嫌いの私が入行できたのだと思っています。

入行後、沼津北支店に配属。2店舗目で裾野支店に転勤も在籍1年半で沼津支店に。沼津は4年半在籍。この間に妻と結婚、第1子長女も生まれ、沼津市沼北町に住んでおりました。沼津支店で今の銀行員としての礎が築かれたと思っていますが、とても厳しかったです。その後、名古屋支店へ異動。当時の名古屋は「愛・地球博」開催に向け、名古屋地区のみ景気が良かったプチバブル状態で、活気がありました。名古屋といえば、有名な繁華街 錦三丁目 通称錦三が、支店より徒歩圏内。夜な夜な街に繰り出し妻には内緒で、散々散財致しました。妻と長女、それに名古屋産の次女も名古屋生活を最大限満喫。そんな、2人の娘も長女は社会人として東京へ、次女は大学3年生。来年の今頃には我が家を巣立っていく予定です。名古屋支店にも4年半在籍し、富士の吉原支店へ異動。この異動と同時に、縁あって現在住んでいる清水町新宿に転居し、早いもので今年で18年になります。その間、長女・次女とも清水町立北幼稚園・清水小・清水中に通い、長女が清水小時代にはPTA会長を務めさせて頂きました。その後、焼津支店に1年半、静岡流通センター支店に2年、富士市内須津支店に半年勤務。実は、須津支店勤務時に、長年のお酒とたばこ、好物の油ものに早食いがたり、冠動脈に出来た血栓が、脳血管に移り脳梗塞を発症。運よく3週間の入院・カテーテル手術で済み、職場復帰。4年半ほど本部に在籍した後、令和4年4月より2度目である裾野支店に異動、2年間従事した後、三島支店に異動し現在に至ります。

三島支店は当行20番目の支店として、昭和32年1月に三島市一番町に出店、平成22年現店舗に移転し、本年度68年目、私は三島支店長第34代目となります。

また、三島西ロータリーには昭和47年7月、当時の支店長であった渡辺光正氏が入会、以後私を含め26人が在籍させて頂き、ロータリー活動を楽しむとともに、皆様との交流の中で、人としての徳を積ませていただいたものと思っています。そんなロータリー活動を、諸先輩同様楽しみたいと思います。若輩者ではございますが、皆様との交流で、もっと自分自身を成長させていきたいと思っています。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

※スマイル・会員慶事は次号に掲載します。

(週報担当:小塚英樹)